

ニラ
(ユリ科)

冷涼な気候を好み、寒さに大変強く、土壌適応性は広い。

作型	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培 (雨よけ栽培)				播種			定植						
	1年目			捨て刈り	収穫								
	2年目			捨て刈り									
													捨て刈り
ハウス 冬春どり栽培													

1) 適地

適応範囲が広く、多少の日陰地でも作れます。肥料分が多く保水、排水ともによい土壌が適します。

2) 品種

グリーンベルト、キングベルト、グリーンロード、タフボーイなど

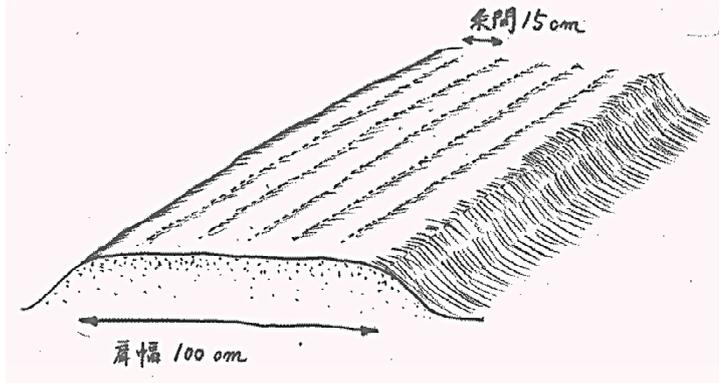
3) 作り方

【育苗】播種の10日前に、苗床1m²当たり苦土石灰100g、低度化成肥料150gを施用して耕耘し、幅140cmの低い畝を立てます。畝上に条間15cmの5条で株間1cm、深さ1cm程度となるように、手または播種機で種を播いて十分に灌水します。本葉が2枚程度になった時点で、1m²当たり低度化成肥料150gを追肥します。

【圃場の準備】酸性に弱いので、1m²当たり苦土石灰200g、堆肥2kgを施用し、耕耘します。定植の1週間前に1m²当たり緩効性肥料100gを施用して耕耘します。

【定植】幅180cm程度の平畝を立て、条間40cmとなるよう、深さ10cmほどの溝を4本掘ります。1か所2苗ずつ、株間25cmとなるように溝の底に並べ、根に2~3cm程度土を被せます。

【管理】活着して葉が伸び出したら、8月上旬までに2~3回に分けて徐々に溝を埋め戻して平らにします。9月中旬から2週間おき



苗床の作り方と播種

に1m²当たり高度化成肥料30gを3回施用し、その都度条間を中耕します。

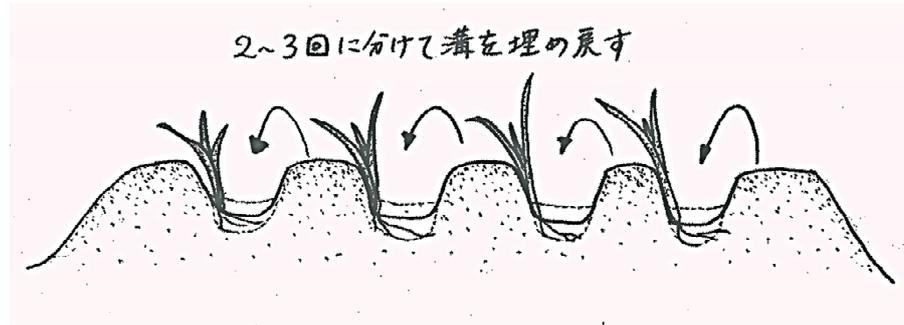
【収穫と収穫後の追肥】露地栽培では、春に新葉が20cm程度伸びてきたら株元3cmを残して収穫しま

す。その後、4～5回程度収穫し、あとは葉を伸ばして株の充実を図ります。収穫ごとに、株から少し離れたところに1m²当たり高度化成肥料30gを追肥し、根を切らないように軽く土寄せします。ハウス栽培では時期をずらして捨て刈りすることで5月下旬頃まで順次収穫できます。収穫後はゴミや株元近くのハカマを取り除き、1束100g強となるよう束ねます。

【株の更新】定植から2～3年したら、芽が多くなりすぎ葉が細くなって収穫が減るとともに品質も低下してきます。株分けをして再度定植するか、播種しなおしましょう。

4) 病害虫防除

害虫ではアブラムシ類やネギコガ、ネダニが発生します。また、病害ではさび病や白斑葉枯病が発生しますので、それぞれ早めに防除します。



定植溝の埋め戻し作業